

## 『国際交流の理論と実践』

神戸学院大学法学部では、世界における文化の多様性と共通性を理解するという観点から、シンポジウムを開催してきました。今回は、名古屋大学グローバルメディア研究センター准教授の井原伸浩氏と、ダンサー・振付師として活躍されている宮原千尋さんを講師としてお招きし、『国際交流の理論と実践』をテーマにご講演いただきます。井原伸浩氏には、主に国際交流の理論と歴史について、宮原千尋さんには、主に国際交流の実践についてそれぞれお話しいただきます。また、神戸学院大学法学部が行っている日韓中の三カ国による大学間交流事業についてもご紹介します。

日時：2020年1月9日(木) 11:15～

場所：神戸学院大学ポートアイランドキャンパス B号館2階  
B210講義室

講師：井原伸浩氏(名古屋大学大学院情報学研究科附属グローバルメディア研究センター准教授)  
宮原千尋氏(ダンサー、ダンス講師、振付師)

対象：どなたでも参加いただけます(事前申込不要・参加費無料)

### <講師紹介>

#### ○井原伸浩(いはらのぶひろ)

現在、名古屋大学大学院情報学研究科附属グローバルメディア研究センター准教授。2010年にメルボルン大学(社会・政治科学研究科)にてPh.D.取得後、2011年に神戸大学法学部学術推進研究員、さらに同大学法学部特命講師を経て、2014年、名古屋大学大学院国際言語文化研究科准教授に就任、2017年より現職、現在に至る。専門は、国際関係論、国際関係史。最近の研究テーマは、東南アジアを対象とした日本のパブリック・ディプロマシー史。

#### ○宮原千尋(みやはらちひろ)

1992年生まれ。神戸市出身。3歳よりクラシックバレエを始める。2005年 AIS BALLET JAPAN 本科へ入学、専科を経て、2011年卒業。2012年にポーランドのグダニスク州立Baltic Dance Theaterに入団し、欧州各国にて数々の講演やイベントに参加。2013年にデンマークのCopenhagen Contemporary Dance school Post Graduate Programにて学び、その後は、国内外にてパフォーマーや振付師として活躍すると同時に、数々の企画にも携わっている。また、国際交流の一環として、2016年よりベトナムと日本のダンス交流活動に取り組んでおり、現地ダンサーとの共同制作作品をホーチミン市および日本国内で発表している。

主催 神戸学院大学法学部(担当:岩田将幸教授)  
問合せ先:神戸学院大学 法学部長室(078-974-4543)